

整形外科徒手検査法を臨床現場で有効活用するには？
どう選択し、どう解釈し、どう活かすか、適切にナビゲートします！

適切な臨床に導くための

整形外科 徒手検査法ナビ



編集

松村 将司

杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻 講師

栗原 靖

城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 准教授

編集協力

三木 貴弘

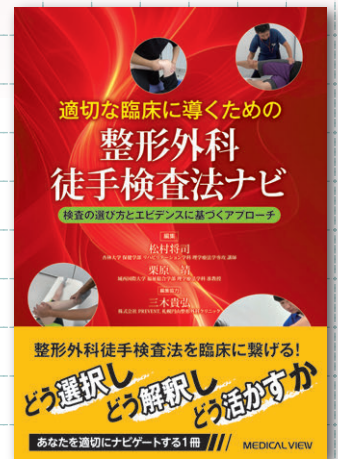
株式会社 PREVENT, 札幌円山整形外科クリニック

検査の選び方とエビデンスに基づくアプローチ

整形外科徒手検査法をどのように適用するべきか、またその結果の解釈とそれを踏まえてどのような治療を施すべきか、臨床思考に基づく治療の組み立て方について症例ベースで解説。各症例に対してなぜその検査法を選択したか、また選択しなかったのかを示すほか、整形外科徒手検査法選択のプロセス、治療法選択の根拠となるエビデンスなどが豊富な写真やイラストを用いてビジュアルに理解できる。

具体的な検査法の手順を詳説している姉妹書『適切な判断を導くための整形外科徒手検査法』と合わせて学習することで、整形外科徒手検査法を自由に使いこなすことができるようになる。

ビジュアルな解説で人気を博した
適切な判断を導くための
整形外科徒手検査法
の続編が登場!!



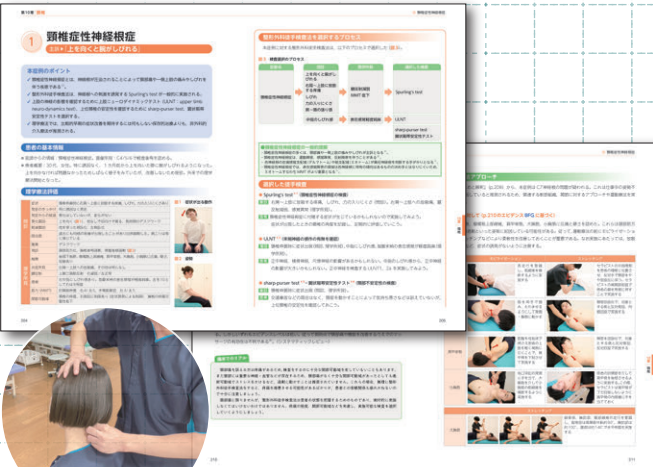
● 治療法については、各種ガイドラインや先行研究に基づいて解説。

● 治療後の再評価についても記載し、経過を明確に紹介。

臨床でのリアル

著者の体験に基づくアドバイスを掲載。

よくあるミス 若手が間違いやすいポイントを提示。



定価 5,720円 (本体5,200円+税10%)
B5判・256頁・オールカラー
イラスト50点、写真440点
ISBN978-4-7583-2257-7

目次

1章 | 総論

- ① 整形外科徒手検査法とは
- ② 本書の使い方

2章 | 足関節

- ① 足関節外側靭帯損傷
「足関節が不安定な感じがあり、捻ると足首の外側が痛い」

3章 | 膝関節

- ① 膝関節内側側副靭帯損傷
「膝の痛みがあって、しゃがむような動きができない」
- ② 膝蓋大腿関節症
「ランニング中、膝の痛みやグラグラする感じがある」

4章 | 股関節

- ① 股関節唇損傷
「デスクワークをしていると右単径部が痛くなる」
- ② 変形性股関節症 「歩くときに体重をかけると痛い」

5章 | 骨盤

- ① 骨盤帯痛
「前屈みになると腰が痛い」

6章 | 肩関節

- ① 腱板損傷
「腕を動かすと肩に痛みが出る」
- ② 前方不安定症 (肩関節前方脱臼)
「手を上げたり肘を後ろに引くと肩に不安感がある」

7章 | 肘関節

- ① 肘外側痛 (上腕骨外側上顆炎または外側上顆症)
「物を持つ・握ると肘の外側が痛い」
- ② 肘関節内側側副靭帯損傷
「肘の内側が痛くて投げられない」

8章 | 前腕・手関節

- ① 手関節尺側部痛 (TFCC 損傷・尺側手根伸筋腱鞘炎)
「捻る動きや握る動作で手首が痛い」

9章 | 腰椎

- ① 腰椎椎間板ヘルニア
「屈むと腰と足が痛い／しびれる」
- ② 非特異的腰痛
「前屈みの姿勢が続くと腰が痛くなる」

10章 | 頸椎

- ① 頸椎症性神経根症
「上を向くと腕がしびれる」
- ② 胸郭出口症候群
「腕を挙げると肩から手にかけて痛くて、手がしびれる」

11章 | 前庭

- ① 良性発作性頭位めまい症
「頭を動かすとめまいがする」

MEDICAL VIEW